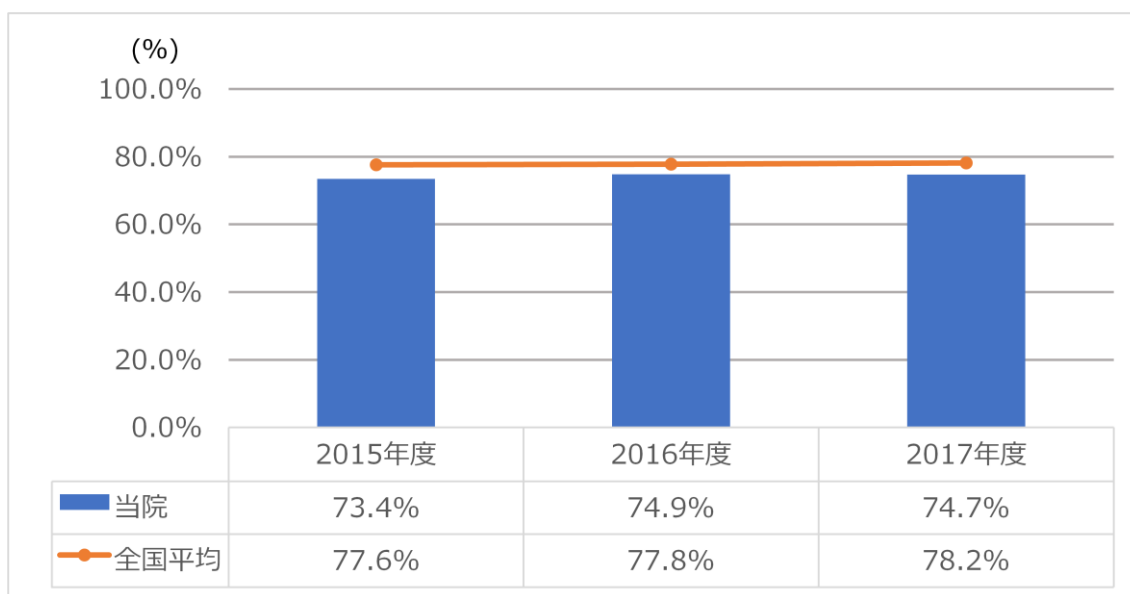


指標 2 1 高難度（外保連試算技術度 D・E）手術実施割合



<定義>

分子	：	高難易度（外保連試算技術度 D・E）手術実施数
分母	：	手術実施件数
期間	：	2015 年度～2017 年度（1 年毎に集計）
対象	：	上記期間の退院患者
値の解釈	：	高いほど高度な医療を集中して実施している

<解説>

外科系学会社会保険委員会連合（外保連）は、外科的手技の技術的評価を目的として各手技の難易度評価を行っています。具体的には、技術の難しさ、何人のチームで手術を行うのか、手術所要時間などを勘案しながら難易度を設定しています。

当院は、鹿児島大学病院とともに、高度で専門的な医療を行う県下の中核的機関として、手術室や手術機器の整備を行い、高難度の手術に積極的に取り組んでまいります。

※ 本データは厚生労働省提出用の D P C データを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院 QIP 事業】」における「医療の質の指標」の計測結果（事業に参加する全国の病院の平均値）を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>（当院の QIP 参加について）

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/CI.html>（QIP における計測結果）